



福祉 いばらきまち

笑顔があふれた ボッチャ交流会



ボッチャとは…

ヨーロッパで生まれた身体障がい者のために考案されたスポーツ。専用のボールをどれだけの近づけられるかを競うゲームで、パラリンピックの正式種目になっています。(関連記事3ページに掲載)



今号の主な記事

令和4年度会費実績／今年のきらり人／金婚式
ボランティアセンターだより／
地域包括支援センターだより／かいごかわら版 他

1月号
No.141



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。

令和5年

謹賀新年



社会福祉法人茨城町社会福祉協議会

会長 小林 宣夫

あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、
清々しい新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会の諸事
業に対しまして、格別のご理解とご
協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと新型
コロナウイルス感染症による生活環
境の変化で経済への影響が続く中、
ロシアによるウクライナ侵攻、急激
な円安なども相まって原油や穀物等
の輸入価格が上昇するなど、私たち
の生活は大きな影響を受けました。

こうした状況を踏まえ、本会では
地域の民生委員児童委員の方々の協
力を頂き、エネルギーや食料品価格
等、物価高騰の影響が特に大きい生
活困窮世帯に対し、緊急経済対策支

援事業を実施し支援をおこなってま
いりました。

また、食料品の詰め合わせを配布
するなど、誰もが自分らしく普段の
生活が送れるようサービスの提供に
も努めてまいりました。

本年も、町民の皆さまが住み慣れ
たこの町で、自分らしく暮らし続け
ることができまますよう、役員一同、
支援体制や仕組みづくりに努め、町
民の皆さまをはじめ、行政並びに関
係機関・団体と連携し、さらなる努
力をしてまいります。

結びに、皆様方の引き続きのご理
解とご協力をお願い申し上げますと
ともに、この一年が皆さまにとって
実り多い年になりますよう、心から
お祈りし、新年のご挨拶といたしま
す。

皆さまのご支援・ご協力
ありがとうございました

社協会費納入のお礼とご報告

令和4年度社協会費の納入について、ご協力をお願いをしたところ、多くの方々にご賛同をいただき、誠にありがとうございました。

また、コロナ禍にもかかわらず、会費の取りまとめにご尽力をいただきました各行政区の区長をはじめ関係者の方々に、厚くお礼申し上げます。

社協会費は、地域の福祉活動を推進するための貴重な財源として大きな役割を果たしています。今年度は、さまざまな影響で、生活が困窮してしまった世帯への支援や一人暮らし高齢者等が孤立しないよう訪問型の支援事業を推進しております。

【令和4年度会費実績】

一般会費	3,792,900円 (7,629件)
特別会費	28,000円 (4件)

今年 は 社会人 2 年目 になり ます。これ から も 新し い こと に どん どん チャレンジ して 飛躍 の 年 と なる よう 頑張り ます。

柴沼侑希さん
平成11年生まれ



まわり の 人 に 世話 になら ない で 済む よう に、まず は 自分 が 健康 で いた い と 思っ て います。今年 も いろい ろ な 活動 に 参加 して 元気 に 過ご したい です。

郡司幸枝さん
昭和14年生まれ



今回 の きらり 人 は、新年 に ふさわ しく 今年 の 干支 「卯年」 の お二人 に 抱負 を 伺い ました。



茨城町身体障害者福祉協議会(ひまわり会)

ボッチャ交流会

昨年11月16日(水)、町中央公民館大ホールにおいて、スポーツを通じて会員相互の交流を深めるとともに、障がいスポーツの普及啓発を目的として、ひまわり会ボッチャ交流会を開催しました。

当日は、会員とボランティア、高年者クラブから計50名の参加者があり、3組1チームに分かれリーグ戦を行いました。的となるボールに着実にボールを近づけるチーム、相手のボールを弾き出すチームなど戦略は様々。限られた球数で勝負するため、チーム一丸となって取り組んでいました。

全日程を終え、熱戦を制した上位3チームには記念品が贈呈されました。参加者からは「ボッチャは初めてやったが、とても楽しかった。チームでない方も応援してくれて嬉しかった。また参加したい。」等といった内容の感想がありました。

参加者の多くはボッチャの体験が初めてでありましたが、みんなで協力し楽しんでいる様子が見えられました。会員はボランティアとの交流を深めることができ、大盛況のうちに終わりました。



令和4年度金婚式典 共に歩んだ50年を祝う

昨年11月22日（火）「いい夫婦の日」に、いこいの村酒沼において、令和4年度金婚式典が開催されました。この事業は、結婚50年を迎えたご夫婦の長寿を祝い、地域の発展に貢献された功績に感謝することを目的とし、茨城町と茨城町社会福祉協議会が共催で実施しています。当日は、対象者34組のうち24組のご夫婦が出席されました。

式典では、小林町長が「長年、苦楽を共に過ごしてこられたご夫婦が今日を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。茨城町が今日の発展を遂げてこられたのは、皆様方の並々ならぬ努力があつてのものであり、感謝の意を表します」と金婚者をたたえました。その後、一組ずつ褒状と記念品が授与されました。また、金婚者を代表して入之内勇、勝子様ご夫妻から「お世話になった町や地域の皆様に対して、地域発展



謝辞を述べる入之内様ご夫妻

のためこれまでの経験を生かし幾分でも貢献し、恩返しをして参りたい」との謝辞がありました。地区ごとに記念撮影を行った後、会場を移して祝賀会が開かれ、会食をしながら50年の歳月を振り返りました。アトラクションでは、ものまねショーを笑顔で楽しまれ、会場は穏やかな雰囲気に包まれました。

第27回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりんスポーツ大会

昨年10月13日（木）に笠松運動公園において、第27回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会が開催されました。この大会は、スポーツを通じて、高齢者の健康の保持増進を図るとともに地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の推進に寄与することを目的に茨城県が主催するもので、本大会は3年ぶりの開催となりました。

当日は、小雨が降る中ではありますが、県内の高齢者約千人が一堂に会し、ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフ等5種目において熱戦を繰り広げました。当町からは、ゲートボールに大戸チーム、輪投げには奥谷チームの会員が参加しました。惜しくも予選突破には至りませんでした。が、選手の皆さんは、競技を通して各地域の会員の皆さんと交流を深めました。



ゲートボール（大戸チーム）



輪投げ（奥谷チーム）



あいあい

知ってっけ？ボランティアまつり

昨年11月6日（日）茨城町総合福祉センターゆうゆう館内において、「知ってっけ？ボランティアまつり」が茨城町ボランティアの会（会長 河野 昭夫）主催で、ボランティア活動のPRと新たな担い手の発掘を目的に、3年ぶりに開催されました。

当日は、活動紹介のためのパネル展示のほか、手話、絵手紙、折り紙サークルの各ブースで、参加者に実際に活動体験していただきました。

参加者からは、「茨城町でこういう活動が行われていることを初めて知りました。」「楽しく体験できました。」「この声があり、また体験の指導をしたボランティアの方々からは、「多くの方に参加していただき、うれしく思いました。」「この体験を機に、ボランティアに参加する方が増えることを期待しています。」「など、たくさんの感想が寄せられました。



絵手紙に心をこめて



手話で「ありがとう」

傾聴ボランティア養成講座

昨年12月8日（木）、15日（木）の2日間にわたり、茨城町総合福祉センターゆうゆう館多目的室において、「傾聴ボランティア養成講座」を実施いたしました。

この養成講座は、ひとり暮らし高齢者等への見守り支援の充実のため、傾聴の技術を学ぶことを目的に行いました。

講師に茨城カウンセリングセンターの塚本美和子先生をお招きし、11名の方々にご参加いただきました。

初日は、「傾聴とは？」を題目に、対象者の話を否定せず「聴く」技術について、初心者でも分かりやすい講話をいただきました。

2日目は、社会福祉協議会デイサービスセンターで、利用者の方々とのお話を通して実際の「傾聴」を体験していただきました。

参加者からは、「聞く」と「聴く」の違いがわかった。「学んだことを実際の場面で活かしてみたい。」などの感想をいただきました。



本会では、引き続き地域の皆さまに寄り添った支援を実施していけるよう、新しいニーズに対応した事業を計画してまいります。



地域包括支援センターだより



家族介護教室を開催しました

7月と11月の各2日間駒場庁舎にて家族介護教室を開催しました。

この事業は現在介護をしている方や関心のある方に対して、介護の備えやコツを学ぶことで、不安や負担の軽減を図ることを目的として毎年実施しています。

一部は「介護への備え・心がまえ」「認知症について」の講話を行いました。二部は演習として「車椅子と杖の使い方」などを学んだほか、福祉用具業者の方から介護用ベッドやポータブルトイレの説明をいただきました。

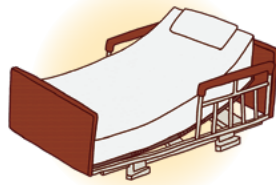
また、起き上がりや排泄の介助の方法等を具体的に学べる機会として実演を交えて実施しました。

参加者同士が、互いの情報交流や交流する機会となり、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。

参加者からは、「介護についてたくさん知れて良かった。」「不安だったけど少し和らいだ。」「介護の必要が出た時に慌てずにサポートできると思う。」などの感想を

いただきました。

今後皆さんの意見を参考にしながら、家族介護に役立つ情報をお届けしたいと思います。



様々な用具を実際に見て学びました

認知症サポーター養成講座

町内の小学5年生を対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。

この講座は、認知症への正しい知識と理解を持ち、認知症の方やその家族を手助けする認知症サポーターを養成することを目的とし、毎年9月の「認知症を知る月間」に合わせて実施しています。

講座では、認知症の症状や予防方法、認知症の方への接し方などについて体操や映像・寸劇を交えて説明を行いました。

◎皆さんに学んで頂いた認知症の方への対応の心得

- 3つのない
- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

児童の皆さんからは「認知症の人にやさしくしてあげたい。」「みかけたら大人に協力してもらおう。」「などたくさん温かい声が聞け、

寸劇も熱演してくれました



積極的に参加してくれる児童



高齢者の方に優しくしようという気持ちを感じられました。茨城町に心強いサポーターが増え、これからの活躍が楽しみです。

デイサービス

「飛躍の年に」

当事業所は平成9年に事業を開始して今年で26年目を迎えます。

一般に「卯年」は飛躍の年・成長がこれからも期待される年とも言われております。サービス利用者様も職員もお互い、心身共に成長し、今年が良い年であることを願います。

臨時職員募集

週3日～週5日の勤務になります！

- 仕事の内容：利用者様への送迎、入浴、食事介助の他、レクリエーションの提供など
- 必要な免許/資格：普通自動車運転免許必須（AT限定可）、介護資格不問
- 就業時間：8時30分～17時
- 休日：土曜/日曜（年末年始12/29～1/3、有給休暇有り、夏休暇有り）
- 時給：957円（処遇改善手当別途支給）
- その他：賞与有り、交通費支給

見学歓迎
します！



詳しくは、茨城町社会福祉協議会 担当：小松崎まで Tel:292-6179

カルム

「BBQ」

カルムでは、昨年10月27日（木）にひまわり会・ボランティアふれあいの集いに参加させていただきました。ふれあいの集いには約3年ぶりの参加で何日も前からワクワクが伝わってきました。当日は快晴のもと、潮の香のする中、大洗にあるマルトBBQ屋外バーベキュー場にてBBQを楽しみました。肉や野菜が焼きあがるたびに、皆の目がキラキラ輝き、同行した職員まで笑顔になりました。



美味しいお肉をお腹いっぱい食べました

昨年11月27日（日）茨城町中央公民館大ホールにおいて、令和4年度福祉講演会（共同募金配分金事業）を開催いたしました。

この事業は、社会福祉の重要性を住民に啓発すると共に行政をはじめ、町内福祉団体等と連携を図り、地域福祉活動の推進を目的に開催するもので、本年度の講演会については3年ぶりの開催となりました。

近年全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生していることから、講演には、防災意識と支え合う地域を推進するため、地域リーダーである区長会役員・民生委員児童委員・ボランティア及び福祉団体の代表の方々にご参加をいただきました。



防災から学ぶまちづくりについて語る米沢先生

災害に強いまちづくり 令和4年度福祉講演会

当日は、小林宣夫社協会長の主催者挨拶に続き、ご来賓の澤秀雄町議会議長からご挨拶をいただき講演会がスタートしました。

講師に、茨城県社会福祉協議会防災活動アドバイザーで、つくばみらい市曹洞宗高雲寺住職の米沢智秀先生をお迎えし、「災害に強いまちづくり」と題して、講演をいただきました。

講演では米沢先生が、災害現場での支援活動を通して学んだ経験談を交えながら、コロナ禍による災害ボランティアセンターの運営の実態について話されました。

最後に「災害時に本当に頼りになるのは『近所の人』。どうか隣近所の付き合いを大事にしてほしい。日常のつながりこそ地域の最大の防災力であり、皆が支え合う地域と防災意識を地域の活動から築いてほしい。」と熱く訴え講演は終了しました。

日常のつながりこそが 地域の最大の防災力



